

@ APDA

2006年 第22回人口と開発に関するアジア国会議員代表者会議

APDAは毎年、アジア各国の人口・開発に関する国内委員会の代表者を集めて国会議員会議を開催しています。2006年はインドのニューデリーで開催し、開会式では福田康夫AFPPD議長が挨拶を述べました。インドはBRICs主要国としてIT産業などの分野で急激な成長を遂げ、グローバリゼーションの主役として世界的

経済の牽引車となっていますが、カースト制に代表される文化 的な影響力の強い地域でもあり、貧富格差の拡大などが大きな 問題ともなっています。これはインドだけでなくアジア各国に 見られる現象でもあります。そのため「人口と開発問題における グローバリゼーションの光と影」をテーマに会議を開催しました。

なぜ国会議員が人口問題を扱うの?(4)

立法の面での重要性は強調してもしすぎることはありません。 女性が健康上の問題や犯罪によって妊娠したものを中絶して 堕胎罪に問われてしまう状態の中で、人口プログラムといって もほとんど意味を持ちません。制度的な要件として法律の整備 がなければ、人口プログラムを国家的な規模で展開することはで きません。APDAが招聘して国内議連を作ったベトナムはわずか 10年でICPD行動計画に準拠した徹底した立法化を行い、その 出生率を40%以上減少させることに成功しました。

The 22nd Asian Parliamentarians' Meeting on Population and Development, New Delhi, India, 2006

APDA has been organizing a regional parliamentary meeting annually since 1984 in one of Asian-Pacific countries. In 2006, the 22nd Meeting under the theme of "Positive and Negative Impacts of Globalization" was held in India—a BRIC member

enjoying rapid economic progress in today's globalizing world. On the other hand, globalization has widened the gap between rich and poor. Mr. Yasuo Fukuda, AFPPD Chairperson, made an opening address at the Opening Ceremony.

Parliamentarians and Population Issues (4)

Without an appropriate legal framework, population-related programmes cannot effectively address people's needs. As an exemplary instance, the Vietnamese Association of Parliamentarians on Population and Development (VAPPD) has reduced the total fertility rate by over 40% in 10 years through the enforcement of national legislation in accordance with the ICPD PoA.

